

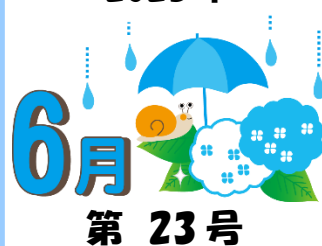
生活支援コーディネーター発行

地域の支え合い通信

麻生、篠路茨戸、太平百合が原、拓北・あいの里
地区版



2023年

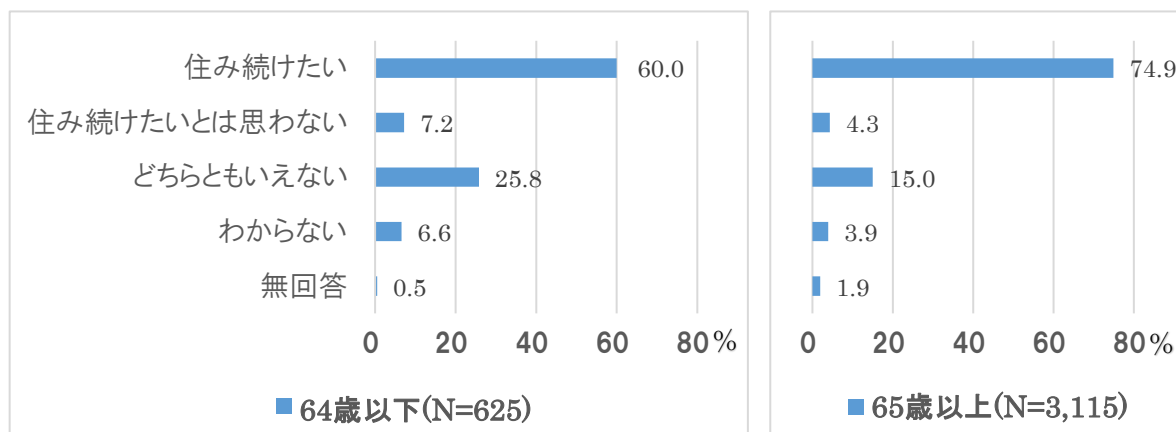


年を重ねても、住み慣れた場所で 安心して暮らし続けるために・・・

令和元年度 札幌市高齢社会に関する意識調査によると、今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思うかをたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「住み続けたい」が最も多く、64歳以下は60.0%、65歳以上は74.9%となっています。

高齢になっても、今の地域で住み続けたいと考えている人が多いことがわかります。

現在住んでいる地域に住み続けたいか



(令和元年度 札幌市高齢社会に関する意識調査)

ひとり暮らし世帯や支援を必要とする高齢者が増加する中、困った時には、制度やサービスだけでは解決できない、ちょっとした手助けが必要なことがあります。例えば、電球の交換、荷物の移動、買い物などです。地域のみんなで声を掛け合い、支え合うことができれば、地域に住む人の困りごとを地域の中で解決でき、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らしていくことができます。

みなさんで、この取り組みを考えていくために、地域の集いの場、老人クラブなどで、ご説明させていただきます。生活支援コーディネーターまで、お気軽にお問い合わせください。

地域のようす～生活支援コーディネーターの活動から～



麻生地区「パストラル麻の実会」訪問

マンション住人が元気で過ごすための、さまざまな活動をされており、大変活気がありました。生活支援へのお考えや、活動状況をお伺いすることができました。ありがとうございました。



「太平百合が原地区 老人クラブ連合会 お花見」訪問

百合が原公園で開催され、38名の方が参加されました。開始前に、介護予防センター百合が原、第2地域包括支援センターとともにご挨拶をさせていただきました。



札幌市北老人福祉センター 「あさボラ」訪問

札幌市北老人福祉センターでは、申し込み不要で気軽に参加できるボランティア「あさボラ」が、3年ぶりに再開し、施設の敷地と隣接している麻生緑地のゴミ拾いを行いました。

[お問い合わせ先]

札幌市北区社会福祉協議会

札幌市北区北24条西6丁目北区役所 1階

☎757-2482

担当) 生活支援コーディネーター 村井田

みなさんの活動が再開はじまりました。やっぱり顔を合わせると笑顔がうまれます。

